

Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC (YTMV) (米国)

事業内容

乗用車およびライトトラックタイヤの生産

敷地面積

243,000㎡

従業員数

740名 (2020年1月現在)

所在地

1500 Indiana Street, Salem, VA 24153

相談・苦情などの受付窓口

TEL : 800-433-9851

Director, EHS, Neil Dalton

メールアドレス : Neil.Dalton@yokohamatire.com



社長ご挨拶



村上 徹郎

ヨコハマタイヤマニュファクチャリングバージニア (YTMV) は、地元地域だけでなく、グローバルな地域にも積極的に貢献するために、人々の信頼を勝ち取ることができるCSRの基盤を構築し続けてまいります。そのためISO14001:2015の基準に定められたように、そしてYRCの基本理念の重要な側面を形作るCSR方針に基づき、継続的な改善を進めながら、北米の重要な生産拠点としての地位を確立しています。工場で働く従業員とその周囲に住んでいるすべての人々と環境を守ることがYTMVの使命です。

当社は、持続可能な事業に焦点を当て、エネルギー消費を削減し、発生する廃棄物を最小限に抑え、自治体、州、および連邦規制を完全に順守する取り組みを推進しています。

YTMVは業務と環境の調和の達成を目指し、持続可能な社会の構築に貢献しており、この両方が私たちの目標であるとともに責任であると考えています。

引き続き、YRC基本理念に沿って、環境と天然資源を保護しながら、事業と製品の将来の成長のための持続可能な基盤を構築し続けます。

組織統治

当社の2019年度の行動計画のスローガンは、「インプット活動＝アウトプット成果」（活動を通じて成果を出す）です。これまでの通り、コミュニケーションとチームワークを大切に、目標達成に向けた取り組みを行います。2020年、当社はあらゆる活動を強化し、環境への影響を最小限に抑えることを重点に置いて、地球環境の保護と人々の幸せに貢献します。



2019年度の方針

人権

当社は、非倫理的な行動やハラスメントを防止するために、すべての従業員が人権保護を定めた横浜ゴムの行動指針の教育訓練を受けています。ここでは、コンピューターを使った学習授業（Computer Based Learning Lessons : CB2L's）を取り入れています。授業は方針を解説するミニクイズからなる複数のスライドで構成されており、各セクションの最後には理解度テストを行います。すべての従業員はテストで80点以上をとり合格しなければなりません。

当社には、すべての給与従業員に対する「オープンドア」ポリシーがあります。内部の苦情処理手続きが確立、解放されており、従業員が職場で不公正に合っていると判断した場合に異議を唱え、解決する機会を提供しています。

労働組合とは、州または連邦法で定められている人種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍などについて、差別なく労働契約に対応することと合意しています。



コンピューターでの学習授業

労働慣行

平等な雇用機会

当社で働くことを望む方々に対して、同等の雇用機会を提供することを約束します。当社は、すべての雇用条件において平等な雇用機会（Equal Employment Opportunity (EEO)）方針の履行を保証しています。2019年には、人事部で、すべての管理者および従業員に対して、「雇用法」遵守の雇用に関するインタビューでの訓練を実施しました。訓練では、保証された内容（人種、性別、宗教、年齢など）、身体的および精神的障害への対応、宿泊施設などの利用について説明し、理解を深めてもらいました。より効果的なインタビューとなるための従業員の意見を伺い、よい関係を構築することにつなげていきます。

安全衛生

当社の安全管理部は従業員の健康と安全を守ることが第一目標であることを2019年度も明確にし、活動しています。このことは、毎週のリスク評価、部門管理者とのミーティング、多くの監査プログラムへの積極的な取り組みに現れています。

- ・ 新規従業員訓練と定期フォロー
- ・ 職場移動時の訓練
- ・ 外部業者への訓練
- ・ 災害時の緊急連絡訓練
- ・ 災害時の緊急搬送訓練
- ・ PIT（動力車）訓練
- ・ ロックアウト・タグアウト訓練
- ・ OSHA規定30時間訓練
- ・ 環境管理訓練
- ・ 毎日始業時のKY（危険予知）訓練

これらの教育訓練に加えて、YTMVの各部門と各工程にあるすべての装置・設備に対して、保護・安全装置が設置され、常に改善を進めています。個人用保護具（PPE）は、すべての従業員が常時利用可能となっており、着用を推進・管理しています。事故が発生した場合には、徹底的な調査、各種対応策の立案とその実施を行い、そのフォローアップを行っていきます。

仕事を終えた後に、私たち従業員が安全に帰宅することよりも大切なことはありません。

緊急対応

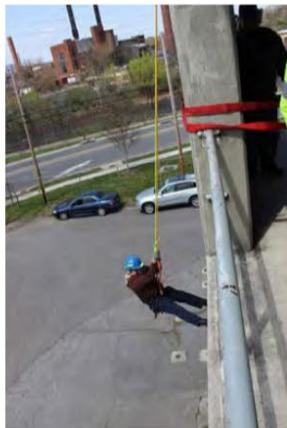
現場で発生するさまざまな医療的な緊急事態に対応するため、24時間緊急車両が使用できるようになっています。また、24名からなる高度に熟練した「緊急救助隊」を組織しています。このチームのメンバーは、狭い空間や高所からの救助など、さまざまな状況に対応できるよう訓練を受けています。火災や緊急時の対応訓練を定期的に行い、全従業員の意識啓発を行っています。以下は、2018年の緊急対応訓練の写真です。



消火ホース訓練



消火訓練



年次緊急各種訓練の様子

廃棄物のリサイクル

当社は、2019年に紙・アルミ缶・ビン・段ボールの全量リサイクル方法を施設全体で見直しました。休憩室や共用部に従業員がリサイクル可能なものを捨てるための分別ステーションを設置しました。2020年には、施設からリサイクルされる廃棄物の量を最大化するために、リサイクルの進捗状況をモニタリングする予定です。

千年の杜プロジェクト

当社はオンサイト（事業敷地内）における千年の杜の植樹活動を2017年に完了しました。

2019年、YTMVはアーバーデイ財団と協力して、2018年にハリケーン・フロレンスの影響を受けたノースカロライナ州東部のブラーデン・レイクス州立森林に1000本の樹木を寄贈しました。ハリケーンの発生時、洪水によりブラーデン・レイクス州立森林の若木が破壊されました。

下記の影響報告書をご覧ください。



環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
廃棄物発生量 (t)	1,604	1,332	1,307	1,509	1,509	
埋立率 (%)	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	23	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	19,025	16,790	16,728	16,776	16,549
	燃料	9,792	8,783	8,915	9,109	8,553
	合計	28,817	25,574	25,643	25,885	25,102
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	60.3	53.5	49.1	49.5	48.0	
水使用量 (千m ³)	143	131.7	135.8	140.5	137.4	

※年度：1月～12月

※海外拠点の温室効果ガス排出量の算定は、GHGプロトコルを使用しました。

排水管理

当社は排水管理を徹底しており、7年連続で法的基準を順守しています。2019年にこれらの成果を踏まえ、当社はウェスタンバージニア水道局からの評価を受け、バージニア水環境協議会の「産業廃棄物・前処理環境優秀賞」でプラチナ賞を再度受賞しました。



自主サンプリング用に購入したサンプリング装置

生物多様性保全活動

生物多様性活動を改善し、周囲の生態系および環境に外部から貢献するため、当社は2015年から2つの生物多様性保全活動を実施し、2019年度も継続実施しました。



ブルーバード保全活動

バージニア州ブルーバード協会は1996年に設立されました。目的は、ブルーバードが子育てする場所を提供し、種の減少を抑えることです。

当社は、2015年の第3四半期から、この活動に参加しています。



巣箱の観察の様子

河川の水質監視プログラム

当社から下流を流れるロアノーク川沿いの水質を監視し、年に2~4回ごとにデータを収集しています。この活動はバージニア州と提携しており、地元の河川の生態系の健全性の情報を提供することで、必要なバージニア州の水域を復元するための手立てを取ることができます。調査場所は、当社が排水している雨水の水質がロアノーク川の水質に影響を及ぼす可能性のある場所を基準として指定された領域（約1マイル）で1回/四半期の調査を監視チームが行っています。



水質調査

環境への取り組み

環境優良プラチナ賞

2018年3月7日、当社は、公害防止、廃棄物削減、および操業許可のための規制への準拠を全て満足していることを7年間継続実施したことから、「環境優良プラチナ賞」を受賞しました。これはバージニア州ロアノークにあるセーラム市とウェスタンバージニア水道局より、この賞にノミネートされ、受賞しました。



バージニア環境優秀プログラム (VEEP)

VEEPIは、バージニア州内の施設が法的要件を超えて環境改善を進めることを促す、州政府が主催するプログラムです。当社は、2017年の第4四半期にVEEPプログラムでE4のステータスに更新されました。

E4のステータス（特別環境エンタープライズ）は、このプログラムで企業が受けることができる最高レベルのものです。E4ステータスを取得するメリットとして、地域社会の認知度、許可手数料の削減、規制上のインセンティブなどがあります。

2019年を通して、さらに2020年に入っても、VEEPプログラムにおける当社のE4ステータスは引き続き維持されています。

公正な事業慣行

化学物質の管理

工場内で使用するすべての材料は、ヨコハマゴムの禁止化学物質リストを遵守し、グリーン調達ガイドラインに適合しています。各材料の安全データシート（SDS）は継続的に維持しており、Webシステム（Sitehawk）で更新しています。

消費者課題

お客さまの訪問

当社はお客さまの訪問をいつでも歓迎しており、受け入れ態勢は万全です。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域との交流・ボランティア活動

セーラム市商工会議所の凧まつり

2018年4月14日、地元商工会議所が主催する「Blue Ridge Kite Festival」に参加しました。このイベントには1万名を超える人が集まり、YTMVをアピールする絶好の機会となりました。



地域への基金募金

2019年度も、当社及び従業員は、地元の慈善団体や組織への寄付を継続して行いました。

アップルリッジファーム

(恵まれない子どもたちへの支援)



ユナイテッド・ウェイ

(ロアノーク地区の教育、家庭、健康、環境への支援)



アメリカ赤十字

(ハリケーン被災地への支援)



Yokohama Tire Manufacturing Mississippi, LLC.(YTMM) (米国)

事業内容

トラック・バス用タイヤの生産

敷地面積

2,000,000㎡

従業員数

702名 (2020年1月現在)

所在地

1 Yokohama Boulevard, West Point, MS 39773

相談・苦情などの受付窓口

T+1-800-423-4544 x6936

YTMM Manager, EHS. Cornell Nelson

e-mail: Cornell.Nelson@yokohamatire.com



社長ご挨拶



野地 彦旬

ヨコハマタイヤマニュファクチャリング・ミシシッピ (YTMM) は、横浜ゴムの企業ビジョンである「グローバル社会に貢献する一員として信頼されるアイデンティティの構築」の実現を目指しています。そのためには、生産活動と環境や社会のニーズとの調和を図ることが重要です。

そこで当社は、エネルギー消費量の削減や廃棄物発生量の削減を推進することで、持続可能な社会づくりに貢献しています。プラスチックなどのリサイクルや、リデュース・リユース・リサイクルの取り組みにより、CO₂排出量の削減に貢献できることを従業員に啓発しています。また、従業員の安全と安心を第一に考えた職場づくりを行っています。異常を発見した際の「ストップ、コール、ウェイティング」を全従業員に教育し、権限を付与しています。3Sの使用を増やすことで労働災害が減少し、2019年には休業中の事故は報告されていません。

更に当社は、地域最大級の雇用主として、従業員が安全で健康的に働ける職場環境を整え、安心して能力を最大限に発揮できるように努めています。地域の皆様に選ばれる企業を目指し、従業員が横浜との付き合いに誇りを持てるような職場環境づくりを目指しています。当社のス

ローガンである "We are Team Mississippi"の通り、従業員が横浜との関係に誇りを持って働けるように努力しています。

組織統治

2020年は、TPMを基盤として、全社活動の強化に注力していきます。継続的改善により、PDCAの手法を用いて、機械のダウンタイムやスクラップの主要指標を下げることをミッションとしています。2022年末までに自立した強い会社になることをビジョンとしています。



2022年ビジョン

人権

倫理に反する行為やハラスメントを防止するために、人権の保護を定めた「横浜ゴム行動指針」の教育・研修を全従業員に実施しています。

YTMMでは、全従業員を対象とした「門戸開放」の方針を掲げています。

また、社内の苦情処理手順を確立し、可能な限り利用しやすいようにしています。

当社の雇用は、州法および連邦法に規定されている人種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍などの問題に関して差別を受けません。

労働慣行

平等な雇用機会

当社で働くことを望む方々に対して、同等の雇用機会を提供することを約束します。当社は、すべての雇用条件において平等な雇用機会 (Equal Employment Opportunity (EEO)) 方針の履行を保証しています。

安全と健康

すべてのリーダーは、ロスタイム事故ゼロという当社の目標を理解しなければなりません。

新しい機器の安全性評価は、機器が生産に供される前に行われます。

指導者チームは、100%の監督者に対してリスク管理に関する研修を実施します。

異なる熱源リスクに対処するためのリスクアセスメントを実施し、そのリスクを排除します。

火災のリスクを低減するためのFMグローバルの設備投資プロジェクトを完了します。

危険予知

HP活性はすべてのレベルで実施されました。

シフトの初めにHP活動を利用して、職場の危険性を確認します。

全ての工場のオペレーターには工場認証と再認証が義務付けられています。

役員安全監査を実施し、YTMM安全プログラムの方向性と成功を確認しました。



今月中に送られた毎週の安全報告書には、以下のような内容が含まれていました。

"インシデントピラミッド" - 記録に残るような、人生を変えるような怪我をなくすためには、ニアミスや安全でない行為を減らす必要があります。

"安全なリフティング技術" - リフティングの基本と、どのようにして怪我からのリスクを減らすかをカバーしました。

"Little Things Count" - カバーされた小さなことは数えることができ、もし私たちが私たちの周りのすべての潜在的な危険に注意を払うために数分を取るならば、私たちは危険を予防することができます。自分自身や他の従業員に重大な怪我をさせないようにします。

緊急対応

また、様々な状況に対応できるよう、訓練を受けた20名のチームで緊急救助隊を編成しています。



工場の従業員の100%がDOJO安全の訓練を受けました。



2019年度中にすべての防火・避難訓練を完了します。

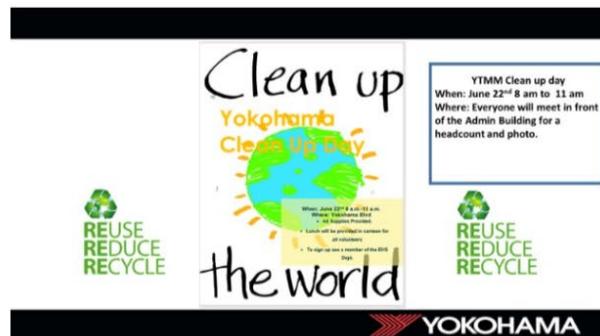
環境

サーベイランス1の訪問は、EMSの実施と有効性を評価し、継続的な認証の適性を判断するために実施されました。組織のシステムプロセスを評価するためにサンプリングアプローチを使用しました。ISO 14001:2015に準拠して実践しています。

採取したサンプルでは、改善のための追加の機会を特定し、不適合はありませんでした。現時点ではアクションは必要ありません。継続認定を推奨しています。

ヨコハマ・クリーンアップ・ザ・ワールド・デイ2019

400以上のエコ誓約書とエコポスター200枚の応募がありました。



環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
廃棄物発生量 (t)	—	—	—	—	8,387
埋立率 (%)	—	—	—	—	0.0
埋立量 (t)	—	—	—	—	0.0
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	—	—	—	15,167
	燃料	—	—	—	5,444
	合計	—	—	—	20,611
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	—	—	—	38.3
水使用量 (千m ³)	—	—	—	—	197.0

※年度: 1月~12月

※海外拠点の温室効果ガス排出量の算定は、GHGプロトコルを使用しました。

排水管理

当社は排水管理を徹底しており、5年連続で法的基準を順守しています。

公正な事業慣行

化学物質の管理

工場内で使用するすべての材料は、ヨコハマゴムの禁止化学物質リストを遵守し、グリーン調達ガイドラインに適合しています。各材料の安全データシート（SDS）は継続的に維持しており、Webシステム（Sitehawk）で更新しています。

消費者課題

お客さまの訪問

当社はお客さまの訪問をいつでも歓迎しており、受け入れ態勢は万全です。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域との交流・ボランティア活動

当社と従業員は地元の非営利団体と共にボランティア活動を行っています。

ユナイテッド・ウェイ



地域への寄付

2019年度も、当社と従業員は、地元の慈善団体や組織への寄付を継続して行いました。

Yokohama Industries Americas Inc. (YIA) (米国)

事業内容

自動車用エアコン、パワーステアリングおよびトランスミッションオイルクーラーホースアッセンブリーおよび接着剤の生産販売

敷地面積

YIA Inc. (DIV.1, DIV.2) 21,400㎡

YIA South Carolina LLC. (DIV.3) 11,200㎡

YIA Ohio Inc. (DIV.5) 12,820㎡

YIA Mexico (DIV.6) 9,300㎡



従業員数

1,260名 (2020年2月現在)

所在地

Versailles工場 105 Industry Drive, Versailles, KY 40383, USA

相談・苦情などの受付窓口

TEL : +1-859-879-3741 FAX : +1-859-873-8943

メールアドレス : Mindie.DeShong@yokohamaia.com

COOご挨拶

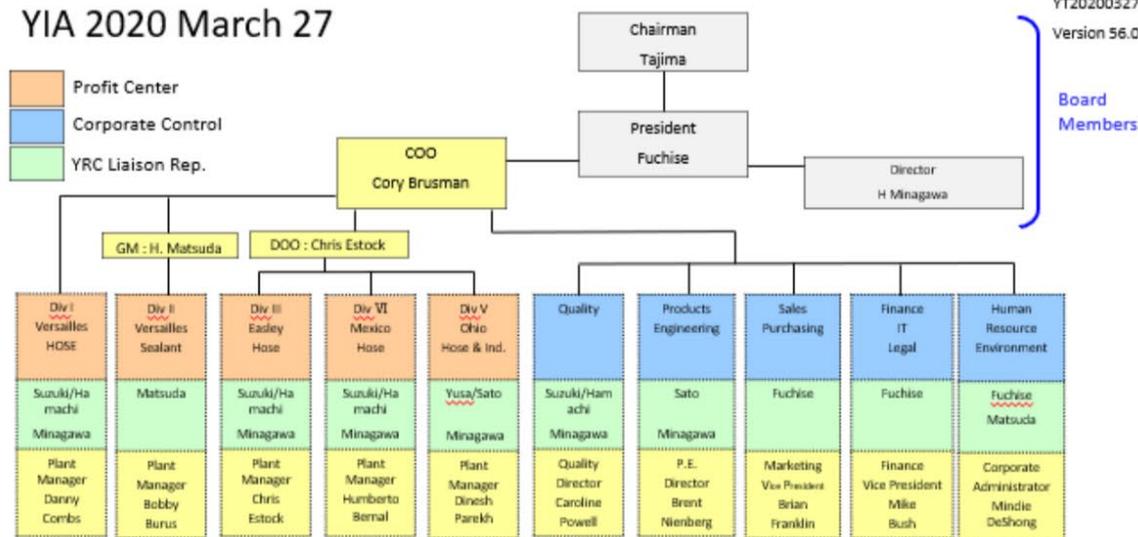


Cory Brusman

Yokohama Industries Americas Inc. (YIA) は、顧客、従業員、地域コミュニティのため、あらゆる面において継続的な改善に尽力して参りました。また同時に環境への影響を考慮し安全な職場でのものづくりにも取り組んできました。YIAの経営は、全てのステークホルダーの要求に対応するために時間と資源を活用しています。

我々のスローガン「EARTH」は、環境への取り組みを意味する標語の頭文字になります。

Environmental “Excellences Achieved and Realized Through Heightened” Awareness.
(最高の環境は、高質な自覚を通じ目標を達成・実現することにより得られる。)



Responsibility & Authority Matrix

	Profit			Quality	Engineering		Marketing		Finance		Administration		
	Div Profit	Corp Profit	Consolidated Profit	Div Quality	Corporate Quality	Div Engineering	Corporate Engineering	Div Marketing	Corporate Marketing	Div Finance	Corporate Finance	Div Admin	Corporate Admin
DIV 1	Plant Manager	President & COO	Chairman	Plant Manager	President, COO, Q Director & YRC Rep	E. Director	President, COO, E Director & YRC Rep	Marketing Vice President	President & COO	Plant Manager	President COO & CFO	Plant Manager	President COO & Corp Administrator
DIV 2	GM & Plant Manager			GM & Plant Manager		GM & D&D Manager				Plant Manager			
DIV 3	DOO & Plant Manager			DOO & Plant Manager		E. Director				DOO & Plant Manager			
DIV 4				E. Director		DOO & Plant Manager							
DIV 5				YRC & E. Director		DOO & Plant Manager							

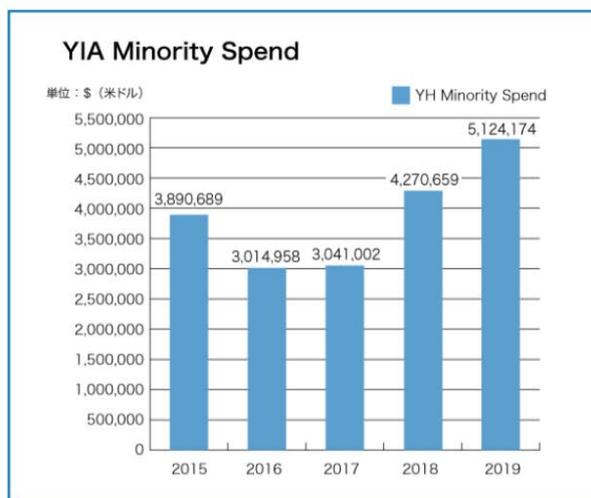
人権

人権への取り組み

YIAは全人種の人権を尊重し、直接または間接的な潜在的差別行動を認めておりません。また人権保護に関する連邦、州法に遵守し、雇用機会均等委員会により制定されたルール、規制に従っております。

マイノリティが経営している会社との取引機会の推進

YIAは、マイノリティ（アフリカ系、ヒスパニック系などの社会的な少数派グループなど）が経営する会社とのビジネスを積極的に推進しています。また我々は日々ニーズに合致した製品やサービスを提供するマイノリティのビジネスを探索しています。長年に渡って我々はマイノリティとのビジネスを通じて成長してきました。ここ数年マイノリティのビジネスは我々のそれより飛躍的に成長してきております。



労働慣行

労働安全衛生

YIAは、従業員の安全を第一としています。そのために最も重要なことは、アクシデント発生前にリスクを認識し是正することです。YIAの安全活動を以下に示します。我々は日々作業中のリスクと事故の関係を追求した安全プログラムを改善していくことに取り組んでいます。

主な活動内容

1. 有効な知見の積極的取り入れ
2. 安全に関する事故の追跡調査、機械と安全基準を改定するための原因調査
3. 新入社員への安全教育
4. KYOSH Education and Trainingのようなボランティア活動への参加
5. 全社員へのインフルエンザ予防接種提供

災害時の対応

YIAは、けが人及び災害時の危険な状況下において初期対応(救助が来るまでの応急処置)の訓練を受けた災害対応チーム (ERT ; Emergency Response Teams)を編成しています。現在そのチームは、COVID19に対して従業員の感染状態を簡易判断する訓練を受けています。彼らは他の従業員への健康リスクがある従業員がいるか否かを質疑応答と体温から判断します。

従業員の教育・訓練

教育と訓練は従業員の育成、効率的生産を確保する上で極めて重要であるため、YIAでは、従業員へ継続的な教育訓練プログラムを準備しています。

2019年度及び2020年第一四半期訓練実績:

1. 月例作業長訓練(Division1)
2. 作業長とチームリーダーのKYT訓練(全Division)
3. 大学学費支援(従業員5名)
4. 新入社員へのPCIによる教育訓練の継続実施

環境

環境マネジメント

2019年メキシコ工場の認証が取得できたことで、YIA全生産拠点は、ISO14001の認証工場になりました。全YIA工場では、「埋立量ゼロ」の3年目が開始され、環境への影響低減のため廃棄物削減、リサイクルに注力しています。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.1の環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
廃棄物発生量 (t)	282	262	196	193	214	
埋立率 (%)	25.5	17.1	9.1	0.0	0.0	
埋立量 (t)	72	45	18	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	2,075	1,907	2,004	2,150	2,288
	燃料	161	133	102	79	121
	合計	2,236	2,040	2,106	2,229	2,409
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	4.9	4.5	5.2	5.5	6.0	
水使用量 (千m ³)	20.2	19.2	17.7	25.3	30.1	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ハマタイト事業部管轄） DIV.2の環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
廃棄物発生量 (t)	210	164	164	127	130	
埋立率 (%)	76.2	70.7	51.8	0.0	0.0	
埋立量 (t)	160	116	85	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	991	980	1,012	1,042	1,043
	燃料	377	388	374	320	273
	合計	1,368	1,367	1,386	1,362	1,316
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	2.9	2.9	3.2	3.2	3.1	
水使用量 (千m ³)	15.3	10.0	10.0	10.2	7.3	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.3の環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
廃棄物発生量 (t)	151	265	423	361	432	
埋立率 (%)	13.2	11.3	4.0	0.0	0.0	
埋立量 (t)	117	117	17	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	1,405	1,317	1,134	1,093	1,079
	燃料	98	116	165	104	141
	合計	1,503	1,433	1,299	1,197	1,220
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	3.3	3.1	2.5	2.3	2.4	
水使用量 (千m ³)	5.6	6.8	3.2	4.4	5.8	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.5の環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
廃棄物発生量 (t)	114	177	176	187	116	
埋立率 (%)	28.0	33.0	11.4	0.0	0.0	
埋立量 (t)	32	58	20	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	883	700	912	918	867
	燃料	411	306	339	426	516
	合計	1,294	1,006	1,251	1,344	1,383
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	2.7	2.1	2.6	3.5	3.5	
水使用量 (千m ³)	11.9	9.7	12.0	10.4	8.8	

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

YIA（ホース事業部管轄） DIV.6の環境データ

項目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
廃棄物発生量 (t)	—	—	—	—	135
埋立率 (%)	—	—	—	—	7.0
埋立量 (t)	—	—	—	—	9.47
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	—	—	—	1,449
	燃料	—	—	—	0
	合計	—	—	—	1,449
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	—	—	—	0.7
水使用量 (千m ³)	—	—	—	—	4.5

※年度：1月～12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年以降はGHGプロトコルを使用しました。

公正な事業慣行

汚職に関する方針

YIAには業務において違反行為が起こらないよう対策を施しています。我々は継続的にそのプロセスを見直しています。2019年、YIAは各違反行為のリスク低減が織り込まれたJSOX（内部統制報告制度）に準拠しました。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

各生産拠点にて地域コミュニティで行われているイベントに寄付金活動を実施しました。

2019年の活動内容

Organization	Amount Donated
Kentucky Impact Baseball	500.00
Woodford County HS Graduation Project	1,000.00
Jessamine County Youth Baseball	500.00
L.A.W. Publications	899.00
Toledo Animal-Donation Memory Bob's Mom	500.00
Pickens County Career and Technology	1,200.00
Oconee Humane Society	500.00
Hospice of Marion County	1,000.00
Woodford County HS Senior Industry Day	employee time
Angel Tree Christmas donations	[employees donate]
Humane Society of Woodford County Christmas donations	[employees donate]
Lawrenceburg Nursing Home Christmas donations	[employees donate]
Relay for Life	[employees donate]
Total	6,099.00



スポーツ振興



地域振興



終末期緩和ケアセンター



職業訓練校



がん基金

YOKOHAMA AEROSPACE AMERICA INC. (YAA) (米国)

事業内容

航空機用部品の販売、部材の購買

敷地面積

2,362㎡

従業員数

16名 (2020年3月)

所在地

22223 68th Avenue South Kent, WA.98032 U.S.A.

相談・苦情などの受付窓口

Administrator TEL : +1-253-395-0123 FAX : +1-253-893-0170

メールアドレス : asuka.ohara@yokohama-aero.com



社長ご挨拶



吉田 哲三

ヨコハマエアロスペースアメリカは、2001年に設立され、横浜ゴムから納入される米国ボーイング社製旅客機737、757向けの化粧室ユニット（ラボトリーモジュール）、水タンク（ウォータータンク）の補用部品販売や納入サポート、および横浜ゴム航空部品事業部から調達要求がある部品、材料の調達業務を行っています。

また当社は、米国航空局（FAA）の認定を取得し、米国、世界の航空会社各社に対して補用部品の販売活動を行っています。

横浜ゴムの環境方針に従い、環境問題を認識し、軽量化された航空機化粧ユニットに代表される環境貢献製品の販売活動を展開しております。

組織統治

行動規範の浸透

Employee Handbookの中にYokohama's Philosophyとして行動規範を規定しています。また入社時とHandbook改訂時に必ず内容の確認を実施しています。

守秘義務につきましては、2014年度にHandbookの規定以外に従業員とEmployee Confidentiality Agreementを締結し強化しました。2016年より、新入社員は、入社時に必ずEmployee Confidentiality Agreementを締結しています。

人権

人権に関する方針

社則に示されたハラスメント、フリー規制を用いて社員教育を実施しています。主な内容として、人種、民族、宗教、性別、年齢、国籍、既婚未婚などによる差別を禁止しています。

また、2016年より、ハラスメントにつき、横浜ゴムの教育資料を基に、弊社内での定期的な教育を行っています。

労働慣行

人事担当マネージャーが、毎年、州が開催する「薬物と酒の監視」講習を受講しています。連邦および州法に基づき年1回（および当該法規改定時）、従業員への通達、職場への掲示義務を実施しています。

- A. Emergency Plans 災害時の対応
- B. Safety Rules and Injury Reports 社内安全規則
- C. Employee's Rights 従業員権利法
- D. Discrimination Laws 人権差別法などの更新

安全健康な職場環境

危険性物質、機器、機材等の管理を定期的実施しており、ケント市消防署の（倉庫配置、スプリンクラー、消火器、危険物配置、各電源元等）点検の確実な実施、立会いを行っています。

訓練時には安全避難経路の確認、棚卸し時などの不定期作業前には危険予知（KY）の確認を行っています。

環境

環境指針

1. 事業が環境に与える影響の把握に努め、環境保全の向上に努めます。
2. 環境関連の法律、法規を遵守します。
3. 環境負荷の低減を目指した航空機用製品の販売に取組みます。
4. 省エネ、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取組みます。

最近の取り組み

梱包材の見直しを行い、自社特注の梱包箱をやめ、市販の箱に変更し、リサイクルできる材料を使用しております。

公正な事業慣行

汚職に関する方針

公職者との飲食、贈答品を禁止しており、過去に汚職違反したことはありません。

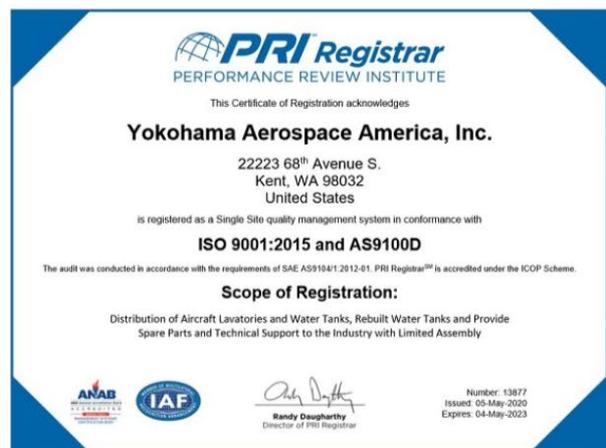
取引先とのコミュニケーション

取引先へ送付するアセスメント書類には、要望および意見を記載できる項目を設けています。

消費者課題

消費者とのコミュニケーション

お客さまであるボーイング社をはじめ、全世界のエアライン会社を訪問し、私たちの製品に関する満足度や要望をお聞きしてより良い製品を提供できるよう努めています。品質については、航空宇宙産業の品質マネジメントシステム規格であるAS9100の認定を取得し継続維持しています。



コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とのかかわり

当社が位置するワシントン州シアトル郊外2014年より、King Country North's Wind's Weir堤の中のGreen/Duwamish川河口部の護岸保護活動、または、YAA近郊のNorthwest Harvest/Kentの食料支援物資の梱包作業活動に毎年参加しています。2018年も前年と同じく、恵まれない子供たちに支給される食料支援物資の梱包への参加をしました。



地域活動への参加